

第3章 わかやまの自然と生活



寺院のあるまち



関連地域の位置

高野山の門前町

高野山は816（弘仁7）年、^{くうかい}空海によって^{しんごんしゅう}真言宗の寺院として開かれました。海拔800mの平らな高原で、山々に取り囲まれた盆地のような地形になっています。山には高野マキ・モミ・ツガなどの^{ろくぼく}高野六木といわれる^{しんようじゅ}針葉樹が茂り、寺の境内の樹木以外に、^{しゅうへん}周辺の山でも国有林として保護されています。



高野山の町並み（高野町）

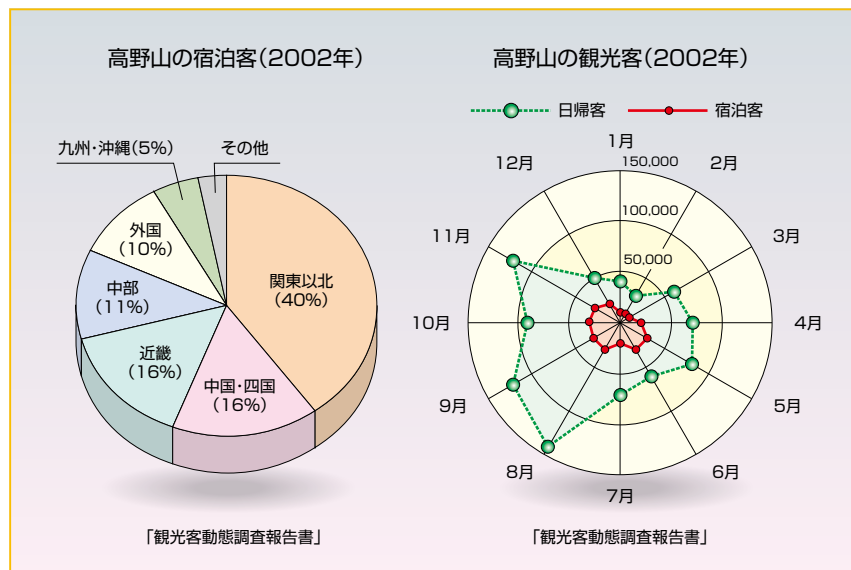
高野山は、^{こんごうぶじ}金剛峯寺や^{こんぽんだいとう}根本大塔を中心に^{さんない}山内には52寺の宿坊や仏具の店、高野マキの^{ろてん}露店が並び、高野の町らしい風景が見られます。すでに江戸時代中期には、山上に商店が軒を連ねていて、品物もたくさん売られていました。現在では、1,876軒^{えいど}4,632人の人々が主にサービス業に従事しています。

江戸時代から高野参りの人々は、高野街道を通して登りました。明治の中ごろから^{にょにん}女人禁制もなくなり、南海高野線が1929（昭和4）年に大阪府難波から^{なんば}極楽橋まで通じ、翌年にはケーブルカー^{かいう}ができて、高野山上まで行けることになり参拝客が増えました。1980年に開通した高野龍神スカイライン（現在の国道371号線）によって、^{ごまだんざん}護摩壇山への観光も便利になりました。高野山の参拝客は、年間124万人ほどです

が、日帰り客が多く、夏から秋に集中します。夏の山上は特に涼しく、林間学校も開かれます。

2004（平成16）年、吉野・熊野とともに世界遺産に登録され、^{いさん}関東以北や、また外国からの^{しゅくはく}宿泊客もふえました。

山上では水道水が不足するので、^{ありだわ}有田川源流にポンプ場がつくられ、有田川の^{よご}汚れをなくす下水処理場もつくられました。



* 1 第1編 第2章「わかやまの名をもつ植物」32ページ参照。

* 2 2005（平成17）年度、国勢調査による。

* 3 仏教における戒律で、それまでは高野山・比叡山などの寺で、女性が境内に入ることを禁じていた。

粉河の門前町

紀の川市 粉河^{こかわ}は粉河寺^{もんぜんまち}の門前町です。J R和歌山線粉河駅^{だいもん}から北へまっすぐにのびた参道^{むろまち}が寺の大門^{いち}まで続きます。

この門前町は、商業の町として室町時代には「粉河市^い」が開かれ、江戸時代には「伯市講^{はくいちこう}」という商人の仲間ができて栄えました。粉河の産物としては、つり鐘^{かね}などの^{いもの}鋳物や^す酢・酒・うちわなどが有名でした。今も参道には^{わき}鋳物店が見られます。参道の両脇にあった古い町並みは、今では新しく広い道になって、そこに住む商店街の人々の生活は便利になりました。しかし、商店街では店を閉めるところ

が目立ちはじめ、住民の新たな街づくりへの取り組みが始まっています。

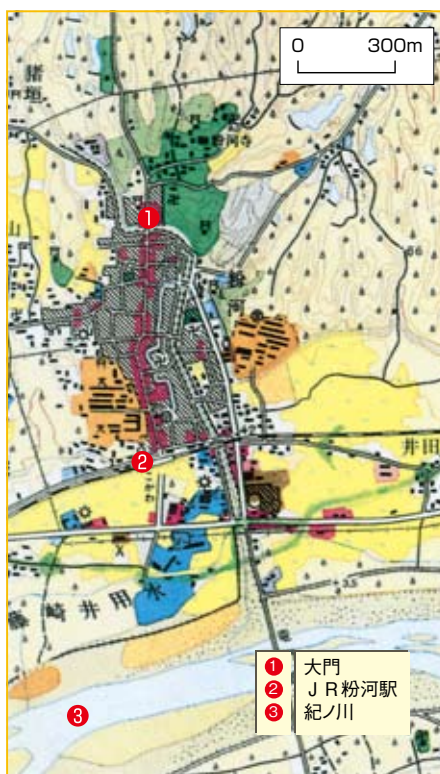
粉河寺^{さんけい}の参詣客は、ほとんど

が日帰りですが、

大門前には旅館があります。毎年7月の末に行われる粉河祭^{だんじり}は、地域ごとに山車がくりだされ、にぎわいます。



粉河の門前町（紀の川市）



* 1 粉河の門前町

御坊の寺内町

御坊^{ごぼう}という地名は、日高御坊^{ひだかごぼう}（西本願寺別院^{にしほんがんじ}）を中心に発達したことにあります。

入山^{にゅうやま}の三宝寺^{さんぼうじ}の「日高御坊開基之覚^{かいきのおぼえ}」（写し）には、1595（文禄4）年に浅野氏^{かしん}の家臣佐竹源太夫^{さたけげん だゆう}によって、日高川河口^{ひだかがわ}の荒地^{かこう}四町四方^{あれち}に、御坊を中心とした町屋^{まちや}が建設されたと書かれています。御坊の古い地図には南北に東町・中町・西町が描かれています。また、日高川から分かれた下川^{えが}が町のまわりを取り囲んでおり、町を外敵^{がいてき}から守ることや水運に便利であったと考えられています。

寺院の前に旅館や土産物店が並ぶ門前町とちがって、御坊のような寺院を中心に計画して建設された町を寺内町^{じないまち}といいます。

御坊の玄関口JR御坊駅^{げんかんぐち}は、町の中心から約2kmも離れており、その間を日本で一番短い私鉄線といわれてきた紀州鉄道^{きしゅう}によって結ばれています。^{*2}御坊の古い市街地は、1996年にできた湯浅御坊道路と結ばれ、その道路沿いに官庁や学校・住宅団地ができてきました。



御坊と中町商店街（御坊市）

* 1 地図は、国土地理院2.5万分の1土地利用図「粉河」（1977年）。

* 2 開業は1928（昭和3）年に御坊臨港鉄道として町の有志によってつくられ、2002年に芝山鉄道（千葉県）が日本一の短い鉄道（2.2km）となるまで、ミニ私鉄全国1位であった。現在は御坊～西御坊の5駅しかなく、総延長は南北に2.7km。